

「スウェーデンという国のお話し」

スウェーデンのトルドー町に70歳代のサムソン夫妻が住んでいます。御主人のノルディックさんは脳梗塞で半身不随さらには認知症で、奥さんのミレーネさんの介護は日々大変です。

サムソン家の隣に50歳代のムース夫妻が住んでいます。ムース家のミント夫人はミレーネさんの介護のお手伝いをしたいとトルドー町に申請しました。役場の町民係がサムソン家を訪問し、ノルディックさんとミレーネさんの意志を確認し、ミント夫人の介護を承認し、介護期間中のミント夫人を国家公務員として認定しました。

このお話しにどのような感想をお持ちですか？ スウェーデンという国の社会的精神性の深さを知る思いがいたします。この事例には大きな施設や複雑な制度は不要です。すでにあるサムソンさんの家と、ミレーネさんやミント夫人のやさしい気持ちがあれば、ノルディックさんの介護はできるのです。

高齢者の日々の安心・安全な生活を、ご自宅と言う資産の中で、地元の職人のメンテナンスと近所の人々のサポートで継続していく……『埼玉いえ・まち再生会議』の活動の基本は、スウェーデンのこのお話しの中に見つけていきたいと思えます。

※文中の町や人の名前は仮称です。


いえ・まち再生会議 議長 小山祐司




左写真は、「手を骨折したひとり住まいのご婦人」の通院に寄り添う「いえ・まち再生会議の藤田社員」、右写真は、藤田さんがご夫人のご自宅で健康管理をサポートしています。

 **埼玉いえ・まち再生会議**
S R C, h a t / Saitama Reproduction Conference of home and town

皆さまから、「ひと」「いえ」「まち」をつなぐ物語りを募集しております。ニュースレターで紹介いたします！


ie-machi.or.jp

 (一社) 埼玉いえ・まち再生会議事務局
048-789-7381
〒336-0041 埼玉県さいたま市南区広ヶ谷戸548

受付時間：9:00～17:00
土日祝日・休日および
12:00～13:00を除く

「いえ」の中は自分のもの。「まち」はみんなのもの。「再生」は減少化社会の豊かな展開。「いえ・まち再生会議」は、ひと・いえ・まちの豊かなツナガリとモノガタリをつくります。

一般社団法人 埼玉いえ・まち再生会議

いえ・まち

ニュースレター
2016年 春号

あっぱれ！

特集

着物の帯をリメイクして、オリジナルの雛人形を作る「小寺人形」の小寺香さん。